

# 令和3年度 北海道シニアサッカー連盟 理事総会 議事録

1. 日 時：2022年4月16日（土）15:00～17:00

2. 会 場：S T V北2条ビル地下 会議室（札幌市中央区北2条西2丁目）

3. 出席者 26名／全構成員32（全構成の2/3＝22名以上の出席で成立）

【出席】西川会長、松本・工藤・三浦副会長、佐藤英理事長、伊東・二川・小坂副理事長、小笠原・小林・眞木・松本真・松本健・水落常任理事、山浦・川崎・坂上・山田理事の18名

【web出席】小田中・亀山・飯田常任理事、紺野・鈴木・土井・平川・柴田理事の8名

【欠席】佐藤晃・吉田常任理事、川田・小島会計監事、神谷・橋本理事の6名

【オブザーバー会場参加】三国(6070)、荒川(40)、橋本(女子)、向出(函館)、木村(釧路)の5名

【オブザーバーweb参加】村山、野呂(審判)、高橋(苫小牧)、三ヶ山(オホーツク)の4名

## 4. 会長挨拶

・西川会長より挨拶があった。

## 5. 議 題

### 5.1 報告事項

5.1.1 第3回常任理事会議事録・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

・資料2～5頁目のおり。

5.1.2 2021年度事業報告及び登録状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

・資料は6～11頁目。

・コロナの影響で中止した大会もあったが、主要大会はなんとか実施できた。

・2021年度のシニア連盟登録チーム数は、70部門のJFA登録を開始したこともあり前年より増加したが、シニア連盟登録者数はコロナの影響で活動休止のチームが若干あり減少した。

・資料8頁目の表、ピンクは新規でJFA登録はしたが連盟登録をしなかったチームで、黄色が例年連盟登録をしていたがその年連盟登録をせずJFA登録のみのチームである（佐藤英理事長）。

・今年度の登録数は、解散したチームもあるが新規登録はそれ以上に増えているので、トータルでチーム数及び登録者数は共に増加する見込みである。

5.1.3 JFAシニア大会部会・HKFAシニア委員会報告について・・・・・・・・・・二川副理事長

#### (1) JFAシニア大会部会

・JFAシニア大会部会報告の資料は12～30頁目。

・JFAでは、シニア普及活動として昨年千葉県で実施した高校サッカー部OB交流フェスティバルが盛況だったので、今後力を入れてやっていきたい意向とのこと。

・また、昨年北海道でも実施したが、金田喜稔さんほかレジェンドによるシニアサッカークリニック（仮称）についても定期開催を目指したいとのこと。

・道協会とまだ話をしていないが、おそらく今年も“大人のサッカークリニック”の開催を依頼されると思うので、その際は皆さんご協力をお願いします（佐藤英理事長）。

#### (2) HKFAシニア委員会報告

・HKFAシニア委員会報告の資料は31～33頁目。

5.1.4 2022年度HKFA会計担当説明会・・・・・・・・・・伊東副理事長

- ・資料は34～40頁目。
- ・今年度の変更点は交通費で、それ以外については大きな変更はない。
- ・今までは、市内は一律、地方はJR代または距離換算のガソリン代と高速代（領収書が必要）だったが、今年度からは手続きの簡略化の観点から、高速代の支給をやめてガソリン代の単価を1km15円から40円に上げる。市内・市外を問わず1000円未満は1000円を支給する。
- ・基本的にはガソリンの距離計算か公共交通機関の実費となる。
- ・地方から札幌の場合、従前はJRで地方から札幌までのJR代に加えて市内交通費1000円を支給していたが、今年度からは実費という扱いになった。
- ・市内の場合は、1000円を超える場合には距離を計算してもらう。距離の計算にはgoogleマップなどを利用すると便利である。ただ、人数が多くなって計算が大変になる時には、道協会にも相談して対応していく予定である。

5.1.5 シニア連盟20周年記念事業について・・・・・・・・・・工藤副会長

- ・資料は41～43頁目。
- ・当初は盛大に祝賀会を実施する予定であったが、コロナにより式典は中止とせざるを得なかった。
- ・20周年記念誌は来月中には関係者等に配布予定である。
- ・役員功労賞と特別功労賞を資料43頁目の通り表彰させて頂きたいと考えている。

5.1.6 連盟HPのチーム情報の掲載について・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料は44頁目。
- ・各チームの代表にHPの内容の確認を改めてお願いしたい。もし修正等があったら、佐藤英理事長か小田中常任理事に申し出て欲しい。

5.1.7 各地区の状況について・・・・・・・・・・(資料なし 出席者口頭報告)

(1) 道南地区

1) 函館・室蘭・・・・・・・・・・小笠原常任理事

- ・コロナの影響で開始時期の出遅れなどはあったが、無事に大きな怪我もなく全日程を終了した。
- ・チーム数は増えず昨年と同じであった。檜山がこの1、2年の間で60が出来そうである。
- ・今年度は室蘭グランパというチームが解散になり、選手は各々他チームに分散した。
- ・今年度は5月14日から第1節が始まる予定である。

2) 苫小牧・・・・・・・・・・川崎理事

- ・4月に苫小牧地区の新規フェスティバルとして40と50の大会を開催した。ただ、当日天気が悪く来られないチームがあったため、函館と苫小牧の交流戦のような形になってしまった。今後もこの大会は引き続き普及活動として実施する予定であり、今年度は明日と来週に実施することになっている。

(2) 道東地区

1) 釧路・・・・・・・・・・坂上理事

- ・コロナの影響でリーグは延期になり、7月からの開始となった。阿寒町での実施であったが30度を越える気温の中、1人が倒れ心肺停止となった。救急隊員の資格を持っている人と看護師の資格を持っている人がいてくれたため、迅速な対応により命に別状はなく、現在は社会復帰している。
- ・今年度の新たな取り組みとして、各チームで救急救命講習をして心肺蘇生法の資格を取ってもらおうと考えている。リーグは5月から始まる予定だが、それまでに救急救命講習を実施したいと思

っている。

2) 十勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・松本真常任理事

- ・昨年度はコロナの関係で日程の半分くらいの実施だった。
- ・今年度は40と50で1チームずつ増える予定である。

3) 根室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・山田理事

- ・小島氏が体調を崩したため、根室地区サッカー協会事業の引継ぎ等で落ち着かない状況。
- ・昨年中止となったカニ三昧を9月上旬の土日に開催を予定している。
- ・根室地区のコロナ感染状況が思わしくないため、リーグ戦やナイターフェスティバル等の開催については現時点で未定。

(3) 道北地区

1) 道北・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・松本健常任理事

- ・交流戦はすべて中止にしたが、公式戦は無事に実施することが出来た。
- ・今年度は、社会人リーグの方から参加したいという話があるので、交流戦で招待チームとして参加してもらい、もし良かったら来年登録してもらおうということで話を進めている。チーム数が少ないので、今後もチーム数増加に向けた働きかけをしていきたいと思っている。

(4) 道央地区

1) 道央シニアリーグ 40・50・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・今年度は40が新しく4チーム参加し26チームになった。1部は10チームだが、2部が16チームになるのでAとBと8チームに分けてリーグ戦をする予定である。
- ・50は1チーム減って16チームになったので、1部・2部8チームずつで実施する予定である。
- ・チーム数が増えたことで日程を1日増やし11節で行う予定で、開始は5/22の予定である。

2) 道央シニアリーグ 60・70・・・・・・・・・・・・・・・・松本敏副会長

- ・前半はコロナで休んだが、結果的には全日程実施できた。土日リーグと水曜リーグ2リーグを月に4回くらい実施した。
- ・今年度は60が1チーム増えて11チーム、70は水曜リーグの方が3チームから1チーム増えて4チームになる。80はまだだが、女子を70リーグに組み込みたいと考えている。

3) 小樽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・山浦理事

- ・去年は小樽開催のリーグ戦がコロナで流れたので、今年は是非小樽でも実施したい。

5.2 協議事項

5.2.1 2022年度事業計画(案)・開催要項(案)

1) 2022年度事業計画(案)・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料45頁目のとおり。
- ・6/18～20に全国60・70が愛媛県松山市で行われるが、北海道からは60が室蘭シニア60と札幌60CERI鳥、70が函館四十雀70が出場する。6/25～27に全国50が千葉県市原市で行われるが、北海道からは札幌50CERI鳥が出場する。11/5～7に全国40が静岡県藤枝市で行われるが、夏の全道大会で出場チームが決まる。
- ・11/19～21にライフスポーツ広島が入っているが、これは未定である。

2) 開催要項(案)・・・・・・・・・・・・・・・・二川副理事長

- ・開催要項一覧(資料46頁目)について、会場の確認をした。

- ・全道シニア 40 は苫小牧市緑が丘公園サッカー場で、天然芝 1 面と人工芝 1 面で実施する（川崎理事）。
- ・全道シニア 50 は天塩川サッカー場で実施する（土井理事）。
- ・全道シニア 60 は釧路市市民陸上競技場及び陸上サブグラウンドで実施する（坂上理事）。
- ・全道シニア 70 は札幌厚別公園競技場のメイングラウンドで実施するが、一応サブグラウンドも用意している。
- ・全道シニア 8 人制は東雁来公園サッカー場の西と東で実施する。北海道シニアサッカー OP 大会はサングリンスポーツヴィレッジとふじスポーツ広場の 6 面で実施するが、6 面実施は今回が初めてである。
- ・北海道シニア 8 サッカーツアー OP 大会は、中標津町運動公園で実施し、日程「7/2～3」は来週の 4/24 に確定する（山田理事）。
- ・全道シニアフットサル OP 大会は来年 3/4～5 に滝川市スポーツセンターで実施する（鈴木理事）。

#### 5.2.2 2022 年度以降の全道シニア大会/主管予定について・・・・・・・・・・二川副理事長

- ・資料は 49 頁目。
- ・2023 年は現在調整中である。シニア 8 ツアーは空欄になっているが、道南辺りで検討している。
- ・会場が固定化する傾向にあるので、各地区で積極的に開催地区として立候補していただきたい。（西川会長）

#### 5.2.3 ねんりんピック・・・・・・・・・・松本敏副会長

- ・資料は 50 頁目。
- ・開催地の自治体が財源的に厳しくなってきたことと会場が取りにくくなっているため、参加チーム数減少の方向。
- ・今までは北海道 1 チーム、札幌 1 チームだったの合計 2 チームだったが、今年度から 1 チームになりそうである。そこで道央リーグの関係者と話をして今年度札幌は辞退し、釧路優先で進める予定で、その後は札幌と札幌以外の 4 地区(道央、道南、道東、道北)の隔年で進めていこうと考えている (C 案)。
- ・2022 年度については、札幌と北海道 (2022 年度は釧路の予定) の 2 チームの割当が継続される。

#### 5.2.4 2021 年度決算報告及び 2022 年度予算 (案) について・・・・・・・・・・伊東副理事長

- ・資料は 51～65 頁目。
- ・連盟登録料について、例年 1 チーム 25,000 円だったが、コロナで活動が少なかったため、2020 年度分の 5,000 円を返金するという形で、2021 年度の継続登録チームの登録料は 20,000 円とした。他方、新規登録チームは還元の対象とせず 25000 円とし、2021 年度に新設された 70 部門の登録料 10,000 円も還元の対象とはしていない。
- ・資料 52 頁目の支出について、中止になった事業(赤字)は支出がなくなった。北海道シニアサッカー大会(夕張)については、最終的に中止となったが、事前準備の支出が若干発生した。
- ・資料 53 項の補助金について、2021 年から新規に開催された苫小牧シニアフェスティバルに補助金を支給した。また、2021 年度から新規に開催されたフットサル 65・70W リーグについても補助金を支給した。
- ・各地区リーグ戦について、開催要項・結果の送付により、チーム数に従って補助金を支出する。また、地域会議についても、会議開催の文書等の送付により補助金を支出する。
- ・資料 54 頁目の特別会計について、20 周年記念式典が中止になったので、ほとんど使うことなく

繰り越しとなっている。今年度記念誌を発行するので、その際にそこから支出する予定である。

- ・資料 55 頁目の連盟口座については、道協会とのやり取りや大会参加チームから入金されるためだけの預金口座なので、入金されてもすぐに出金するものである。
- ・資料 56 頁目は会計の推移をグラフ化したものだが、収入と支出が大幅に上がっているのは、ピステ代個人負担分とシニア連盟で運営した全道 70 と全道 40 に対する J F A からの一括補助金を計上したため、一時的に増加したように見えるが、基本的には例年並みである。
- ・資料 57 頁目のとおり、川田会計監事と小島会計監事による会計監査が実施され、問題ないとの報告を受けた。
- ・2022 年の予算については、登録料は 2021 年度と同じく継続チームには 5,000 円の還元を実施する。それ以外は例年通り。
- ・2022 年の支出については、赤字が変更部分であるが、ほぼ 2021 年度と変わらない。
- ・70 部門の J F A 団体登録料については、今年度は半額負担とする(今年度は 3 年計画の 2 年目で、昨年度は全額負担、来年度は補助なし)。具体的な補助金の額については地域によって異なるので、資料 64・65 頁を参照。
- ・2022 予算案の H P の項目について 83,050 円を計上しているが、2021 年決算では 213,950 円となっている。2021 年決算額は 20 周年に向けた H P 大改修が含まれていると思うが、2022 年度予算として 83,050 円で大丈夫か？(三浦副会長)。  
問題ない(小田中常任理事)。
- ・決算報告と予算案について、全会一致で承認した。

#### 5.2.5 全道大会の運営・経費の使用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・伊東副理事長

- ・資料は 66～67 頁目。
- ・全道大会を各地区にお願いしているが、それぞれの地区でやり方が多少異なり、経費の使い方についてもうまくいっている大会とそうでない大会もあるようだ。何か困ったことがあったら何でも相談してもらいたいし、今後は勉強会や意見交換会などをやりたいと考えている。
- ・収入については、まず道協会からの一括補助金を優先使用してもらい、その次にシニア連盟からの補助金を使用していただきたい。
- ・支出については、ケガが多いので理学療法士やトレーナーの配置をお願いしたいが、経費的に厳しいようならシニア連盟でも予算を設けているので相談してもらいたい。運営役員や審判員が足りない時も同様である。
- ・北海道サッカー協会のカップレプリカは大会経費で清算するが、シニア連盟カップレプリカと M V P 盾はシニア連盟の経費で出すので、大会経費ではなくシニア連盟に直接請求してもらいたい。

#### 5.2.6 役員改選について・・・・・・・・・・・・・・・・・・西川会長

- ・資料は 68～71 頁目。
- ・2021/11/13 第 2 回常任理事会で選出された選考委員で構成する選考委員会で新 3 役として松本敏会長、工藤副会長、三浦副会長、小笠原副会長、佐藤英理事長を推薦することになった。その選考委員会による推薦提案が本理事総会で全会一致で承認された。
- ・松本敏新会長により資料 70 頁目 2022～2024 北海道シニアサッカー連盟役員【新】の表のとおり副理事長、常任理事、会計監事、理事が委嘱された。
- ・新たに EA (Executive Adviser) という役職を設け、上記表のとおり委嘱された。
- ・新 3 役、新任者、役職変更者よりそれぞれ挨拶があった。

5.2.7 連盟名簿・各専門委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料 72～76 頁目。
- ・専門委員名簿を資料 72 頁目の内容で道協会に提出することになった。
- ・シニア委員会の委員長、副委員長、委員、J F Aシニア大会部会が資料 75 頁目のとおり変更となった。

5.2.8 北海道シニアサッカー連盟規約（変更箇所はなし）・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料は 77～83 頁目。
- ・変更された箇所は特にないが、E A 新設に伴い今後追記されることになる。松本敏新会長が変更案を考えることになった。
- ・定年制・在任期間の規定である第 21 条について、他の地区協会・連盟にはこのような規定がないこと、今後高齢カテゴリー増加が見込まれること、若くして役員になった優秀な人材をとどめておきたいことなどから緩和したいと考えているが、他方で持続可能な組織として新陳代謝も必要であることから、この規定をどうするか今後検討していきたいと考えている。継続協議案件として残す。

5.2.9 各種勉強会・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料は 84 頁目。
- ・一昨年、去年はコロナで実施できなかったが、今年度からは本格的に勉強会を実施したいと考えている。具体的には第 1 回常任理事会で検討したいと考えている。

5.3 その他

・女子チームの応援依頼・・・・・・・・・・・・・・・・・・伊東副理事長  
(2022 年度エイトリグ①5/28(土)SSAP 人工芝、②6/18(土)SSAP、③6/16(土)東雁来)

- ・毎年シニア連盟から伊東副理事長のほか 2 名ほど派遣している。今年も 2～3 名ほど募集したい。
- ・今年度は三浦副会長が中心になって選任する。

・連盟ピステ、トレシャツの更新（資料 85 頁目）・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・資料は 85 頁目の 4 点で 10,000 円。

・次回常任理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

- ・日程は資料 45 頁目記載のとおり、第 1 回が 6/4、第 2 回が 9/3、第 3 回が 12/3、第 4 回が 2/18、理事総会が 4/15。第 1 回は一応札幌でも押さえておくが、できれば道北地区で開催したいと考えている。

- ・この後、意見交換会を実施する。